

ステップ付き起立訓練ベッド エリーゴ

【警告】

- ・関節可動域 (ROM) の設定は必ず使用者に合わせて無理のない範囲で設定すること。
- ・訓練中に痛みや不快感などの異常を感じた時は、停止スイッチを押して機器を停止させること。

【禁忌・禁止】

1. 適用対象
 - 1) 以下の症状を示す人又は診断を受けた人への使用は止めること。
 - ・ 下肢の血管障害
 - ・ 心臓疾患のある患者
2. 使用方法
 - ・ 機器の動作中に乗り降りすることは絶対にしないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、組み込まれたバネのあるフットプレートが上下に可動することにより屈伸運動を行い下肢の筋力を維持、発達又は回復させるために用いる。コントロールソフトウェアにより患者データを管理、トレーニングデータの閲覧、機器のパラメータの調整保守を行う。そのデータは USB メモリーからファイル出力することができ、又イーサネットネットワーク経由で印刷出力することもできる。

(コネクタ規格:RJ-45)

以下の付属品とオプション品があり、付属品及びオプション品は本体に同梱または単体で販売することがある。

また、患者が治療中使用するベッドは 90°上がるが、患者の体はベルト等で固定しているため安全性に問題はない。

2. 構成

(1) 本体



寸法:幅 2560mm×高さ 2560mm×奥行き 890mm

重量:約 350kg

(2) 付属品

- ① 電源コード

(3) オプション品

- ① アームレスト
- ② ヘッドレスト
- ③ 患者移送 Rolbord
- ④ カテーテルフック

3. 定格

(1) 機器の分類

電撃に対する保護の形式:クラス I 機器

電撃に対する保護の程度:B 形装着部

水の有害な浸入に対する保護の程度:IPX2

(2) 電氣的定格

定格電圧:AC100V

定格電源周波数:50/60Hz

入力電力:最大 800VA

ヒューズ:10A

4. 設定可能範囲

(1) ROM:0~46°

(2) 速度:8~80 step/min

(3) 傾斜:0~90°

5. 作動原理

大腿部カフスにより、脚ドライブに患者の脚を固定し、患者を固定した垂直テーブルを 0~90° で調整し、組み込まれたバネのあるフットプレートは患者の足の裏を加圧し上下に可動することにより、患者の脚を動かす。患者の脚の長さにより ROM(膝可動域 0~46°)は検出される。脚の動きは事前に設定された歩行パターンに従って、患者の脚を動かす他動的リハビリ運動を実施する装置である。

【使用目的又は効果】

本品は、下肢の筋力を維持、発達又は回復させるために用いること。

【使用方法等】

使用可能な患者の条件:

体重 135 kg以下、身長 210 cm 以下、

足底から大転子までの長さ 75 cm~100 cm

1. 取扱説明書に従い、本品の準備を行う。

2. 本体の電源を入れる。

3. 操作パネルに新しい患者プロファイル、もしくは現行患者のプロファイルを選択する。

詳細については、取扱説明書を参照する。

4. 脚と大腿部までの長さを調整する。

(1) 脚サポートの長さを、推定したおよその患者の大腿部長さに調整する。

(2) 患者が本体に横になっている時、後で設定を微調整できる。

5. 大腿部腿カフスを装着する。

6. 患者の移送

(1) リモートコントロールを使って、垂直テーブルの高さをベッド、もしくは車椅子に合わせてセットする。

(2) 患者をベッド、あるいは車椅子から移送する。

(3) 患者の大転子と背クッションの股関節位置と一致していることを確認する。

取扱説明書を必ずご参照ください

7. 患者の上半身をしっかりと固定する。
 - ① 肩用ベルト
 - ② 胸用ベルト
 - ③ 腰ベルト
 - ④ 脚用ループ
8. 患者の下半身をしっかりと固定する。
 - (1) 患者の脚をフットプレートに固定する
 - (2) フットプレートの角度を調整する
9. 大腿カフスの装着し、膝蓋骨の上に 2 本の指の幅を位置させ、患者の大腿部にカフスがしっかりと合うことを確認する。
10. リモートコントロールを使って、垂直テーブルを最大高さまで上げる。
11. 操作パネルの[ROM Measurement](ROM 測定)画面により、患者の ROM の決定を行う。
12. 操作パネルにより、トレーニングを実施する。
 - (1) ソフトウェアの[Training]画面に進む。
 - (2) 全てのパラメータが正しく設定されていることを確認する。
 - (3) 脚運動を実行するには[Start]をクリックする。
 - (4) 患者が心地良いステップ周波数になるまでゆっくりリズム(歩調)を上げる。
 - (5) 水平位(横向き姿勢)で 5 kg (11 lb)を超えないよう低負荷力を適用する。
 - (6) 垂直(角度)を開始する。
 - (7) ハーネス及び脚サポートが正しい位置にあることを確認する。
13. トレーニングの終了
 - (1) テーブルを完全な水平位置にゆっくりと後ろ下方向に戻してください。
 - (2) [Training] 画面の[Stop]をタップして脚運動を止めてください。
 - (3) アームレスト(任意)、大腿カフス、フットストラップ、及びハーネスを外してください。
 - (4) 患者をベッド、もしくは車椅子に戻してください。
 - (5) タップして、[Shutdown Device]を選び、PC の電源を切ってください。
 - (6) 本体の電源プラグを抜いてください。
 - (7) 本体を清掃してください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - (1) 可動域は必ず測定・訓練を行なう前に決めて下さい。また可動域はそれぞれの部位の制限を越えないように設定して下さい。
 - (2) 可動域は被験者によって異なりますので、終了後は必ずクリアして下さい。
 - (3) 停電時はただちに利用を中止し、速やかに降りて下さい。
 - (4) 機器や利用者に異常があった場合、利用者にとって安全な状態で、直ちに機器を減速、停止させ、適切な処置を行って下さい。
 - (5) 他の機器を併用する場合は、専門家の指示に従って下さい。
2. 不具合・有害事象
 - (1) その他の不具合・有害事象
 - 1) 本品使用時の不具合・有害事象として、組織、靱帯、腱、神経、血管及び骨等の損傷が考えられる。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管方法
-20～+60℃ 相対湿度 20～90%
2. 動作条件
10～30℃
相対湿度 30%～75%
周囲圧 700～1060hPa

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項
 - (1) 点検項目: 清浄
乾燥した、少し湿り気のある布を使用してください。しつこい汚れある場合は、アルコールか一般の洗剤にその布を浸して使用してください。強力な洗浄剤、石鹼、あるいは溶剤の使用は避けてください。
 - (2) 点検頻度: 適宜実施すること。
2. 業者による保守点検事項 (詳細は取扱説明書参照すること)
点検頻度: 1,500 時間の使用後とその後 3 年以内ごと

【製造販売業者及び製造者の氏名又は名称等】

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 選任製造販売業者 | AJMD 株式会社
電話番号: 03-5614-0733 |
| 外国製造業者 | Hocoma AG
ホコマ アーゲー
(スイス) |

取扱説明書を必ずご参照ください